

2020年11月30日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園  
学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 希望における新型コロナウイルス感染者の  
発生状況について（第3報）

2020年11月17日に障害者支援施設 希望において利用者1名の感染が判明した新型コロナウイルス感染状況についてご報告します。

11月19日の希望利用者・職員対象としたPCR検査で21日に利用者3名の陽性者が判明しましたが、その後発熱症状のあった利用者4名のPCR検査を再度行ったところ陽性が判明し、陽性者は累計で8名となりました。

また保健所指導により、希望施設の陽性判明者以外で濃厚接触者と思われる利用者・職員について26日にPCR検査を実施しましたが、28日に全員の陰性が判明しました。

1 陽性者について

17日に陽性が判明した利用者1名については、療養期間が終了し26日に退院しています。また、陽性の利用者のうち熱・咳等の症状がある利用者2名については、27日に病院に入院しましたが、そのほかの利用者は、いずれも無症状あるいは軽症でユニット内で療養待機中です。

2 障害者支援施設希望及び工房金魚の運営について

皆様には引き続きご不便をおかけしますが、希望施設については、入所ユニット毎に閉鎖し、短期入所の受入れは当面休止します。また工房金魚及びグループホーム「希望」についても当面休止・閉鎖します。入所者はそれぞれのユニットで健康観察を継続しており、日中活動は全面休止しています。

なお、旭区内の白根学園施設については、感染予防策を徹底しつつ、通常どおりの運営を行っております。

学園としては、今後も利用者・職員の日々の健康観察を継続するとともに、基本の感染予防策を徹底し、保健所等関係機関と十分連携して対応してまいります。